

# 技能評価システム移転促進事業 (SESPP)

## 事業実施報告書【カンボジア】

担当講師	萩生田 幸男（高和電気工業株式会社）
実施期間	2024年12月9日（月）～12月13日（金）
実施場所	カンボジア プノンペン市 産業技術大学 (ITI)
研修	技能評価トライアル(SET)、技能評価者認定(SAC)
実施職種	配電盤・制御盤組立て作業 2級

2025年1月

## 結果概要

1. 対象者数： SET 評価者数 11名 / 評価者認定合格者数 11名  
 受検者数 4名 / 合格者数 0名（実技合格1名）

### 2. 日程

日時	指導内容
12月9日（月） 8:30～16:30 （全て現地時間）	<p>【開講式】            ITIにおいて関係者（ITI学長、労働省関係者出席）で開講式を挙行政した。</p> <p>【オリエンテーション】</p> <p>① 技能評価トライアル（SET）技能評価者認定（SAC）開始の挨拶（萩生田専門家）をした。</p> <p>② 受講者名簿を基に受講者チェック（名簿は11名）を実施した。</p> <p>③ 研修スケジュール確認した。</p> <p>【技能評価者職務チェックシート説明・受講者自己評価実施】            今まで取組んできた成果を踏まえて、SET実施するに当たり技能評価者職務チェックシートで自己評価方法を説明し実施した。</p> <p>【技能評価者事前講習テキスト解説】            SACを行うため改めて、技能評価者事前講習テキストのポイント及び重要な点について再度解説を実施した。</p> <p>【SET役割分担決め】            受講者全員にSET時の役割（アセッサー3名（内チーフ1名）、アシスタント8名（内チーフ1名）を設定して、学科担当（2名）でそれ以外は実技担当（各役割、採点項目等）として決めた。</p>
12月10日（火） 8:30～16:30	<p>【2級トライアル準備表で準備】            各役割担当に分かれて準備を実施した。</p> <p>【学科試験の会場準備】            SET学科試験受付等準備状況を確認した。</p> <p>【SET実技試験準備】            学科試験担当者以外の方が、SET準備一覧表及びチェックシートで確認しながら実技試験の準備を実施した。（アセッサーがリーダーで）</p>
12月11日（水） 8:30～16:30	<p>【SET学科試験受付・学科試験説明・学科試験実施】</p> <p>① 各役割に沿って学科試験受付を実施した。</p> <p>② 学科担当アセッサーが学科試験方法を説明し学科試験（今回は講師が作成）を実施した。（真偽法25問、多肢択一法25問 合計50問：1h40m）</p> <p>【SET学科試験採点・集計】</p> <p>① 学科試験担当者が採点・集計した。</p> <p>【SET実技試験準備】            学科試験担当者以外の方が、SET準備一覧表及びチェックシートで確認しながら実技試験の準備を実施した。            実技試験前日にSET受検者に実技試験申合わせ事項等説明を実施した。            （チーフアセッサー説明）</p>

<p>12月12日(木) 8:00~16:30</p>	<p><b>【SET 実技試験】</b> 各役割が担当して実技試験実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 受検者の受付</li> <li>② 実技試験のスケジュール、注意事項、各器具の設定方等説明</li> <li>③ 実技試験開始</li> <li>④ 各役割実施（アセッサー、アシスタントアセッサー）</li> </ol> <p><b>【SET 実技試験採点】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① アセッサー採点実施（実施したか不明箇所はその場で確認）</li> <li>② アシスタントアセッサーの採点実施（実施したか不明箇所はその場で確認）</li> </ol>
<p>12月13日(金) 8:30~15:30</p>	<p><b>【SET 実技試験採点及び集計】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① アシスタントアセッサーが採点。荷札をアセッサーが確認して最終不適合を確定した。</li> <li>② 確定した荷札に記載されている不適合内容を、採点集計表に転記した。 （共にダブルチェックで漏れ、間違いがないか確認しながら実施）</li> <li>③ 3人のアセッサーが全ての採点集計表の確認が取れたら、全ての採点集計表にサインした。（集計表の記載は全て消せないボールペンで記載）</li> </ol> <p><b>【技能評価者職務チェックシートによる受講者と面談・評価】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① SET 全体の確認と細かい改善点を評価し、受講者からの意見等を受けた。</li> </ol> <p><b>【受講者アンケート作成】</b> QRコードを読み取り、FORMSにて各自アンケートで実施した。 同様に上長管理者にもアンケート実施を依頼。</p> <p><b>【閉講式】</b> ITIにおいて関係者（ITI学長、労働省関係者出席）で閉講式を挙行了した。</p>



技能評価者職務チェックシート  
受講者自己評価



学科試験



実技試験



実技試験



実技試験採点



閉講式

### 3. 講評

今年度のカンボジア研修は仕上げの年として、2級 SET と 2級 SAC を実施した。専門家としては配電盤・制御盤組立て職種としての研修は全て教えてきたところで、2級 SAC として技能評価者職務チェックシートの準備、実施及び採点・評価の段階に記載されている各項目を個別に確認しながら評価を進め、最後は対象者全員と面談しながら最終評価を実施した。2級 SAC 受講者は、この職種のカンボジアのリーダーであり、推進責任者であると確信している。いよいよカンボジアで配電盤・制御盤組立て作業の技能検定を実施できる人材は揃ってきたので、日本式基準を基にカンボジアの基準を作成して ASEAN で最初に自国での技能検定が開催できる事を節に祈念している。最後に、この職種としてカンボジアで実施できた事は多くの関係者のご協力ご支援の賜物と感謝している。

### 4. アンケート

<SET>

◆評価者 11 名（回答者 11 名）（※5 段階評価）

満足度：	大変満足=10 人	満足=1 人
役立ち度：	大変役立つ=10 人	役立つ=1 人
向上度：	大変向上した=7 人	向上=4 人
継続期待度：	是非とも継続すべき=5 人	継続すべき=6 人

【改善点・提案】

- ・課題のクメール語訳が分かりにくかった。
- ・スキルに関する研修を継続してほしい。

【意見・感想・実施希望】

- ・空気圧システム、機械製図(CAD)作業
- ・本研修の 1 級まで継続して支援してほしい。(6)
- ・日本で研修を受けたい。また、日本の技能競技大会を視察したい。
- ・学生に指導するための教材として使用したいため、本職種のガイドラインを提供してもらいたい。
- ・在カンボジアの日系企業に対して、(従業員の評価について) SESPP 事業のトライアル受検者の評価を、採用時の判断基準として受け入れてもらうよう働きかけてほしい。
- ・学生への指導用に新しいスキルに関する資料をご提供いただきたい。

◆受検者 4 名（回答者 4 名）

満足度：	大変満足=2 人	満足=2 人
役立ち度：	大変役立つ=2 人	役立つ=2 人
継続期待度：	是非とも継続すべき=3 人	継続すべき=1 人

【改善点・提案】

- ・是非継続してほしい。

【意見・感想・実施希望】

- ・PLC プログラミング (2)

- ・ モーター制御
- ・ 電気機器に関する職種の研修を継続してほしい。

◆現地責任者 1 名（回答者 1 名）

継続期待度： 是非とも継続すべき=1 人

【改善点・提案】

- ・ 学科試験課題に関する一般的な内容を、予め受検者に勉強してもらい、また事前講習もしていただきたい。

【意見・感想・実施希望】

- ・ CNC やエレベーターなどに関するスキルの実施をお願いしたい。